

科目名	チームビルディング演習							年度	2025
英語科目名	Team building practice							学期	前期
学科・学年	スポーツ健康学科 サッカーコース 2年次	必／選	選	時間数	30	単位数	2	種別※	演習
担当教員	伊藤茂彦	教員の実務経験		有	実務経験の職種		スポーツインストラクター		
【科目の目的】 チームづくりの基本となる人間関係の構築や関係性・協調性の構築をよりスムーズに行うための手法について学ぶ。また、プレーヤーとしてだけではなく、コーチ・指導者といった様々な立場・視点から自身の振る舞いについて考えられるようになることを目的とする。									
【科目の概要】 チームワークの大切さを学び、結束を固めてゴールへと進むための組織作りについて学びます。									
【到達目標】 コーチとしてチームを指導する際に、選手を目線に立ってどのようにチームワークを構築していくかを理解し、実践することがを目標とする。チームワークの考え方、在り方は競技内容や性差、年代によって異なるため、幅広い視点でのアプローチができるようになることも目標とする。									
【授業の注意点】 理由のない遅刻・欠席は認めない。授業内容に応じて、スポーツウェア、インシューズを準備すること。また、熱中症対策として飲料を持参すること(状況に応じて休憩時間を設ける)。授業時数の4分の3以上出席しない者は評価することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい		レベル3 ふつう		レベル2 あと少し		レベル1 要努力	
到達目標 A	チーム・個人の現状を把握し、自身の目標設定を明確にすることができる			チーム・個人の現状を把握し、自身の目標設定を「ある程度」明確にすることができる				チーム・個人の現状を把握し、自身の目標設定を明確にすることができない	
到達目標 B	グループワークを通して、主体的な役割を果たすことができる			グループワークを通して、「ある程度」主体的な役割を果たすことができる				グループワークを通して、主体的な役割を果たすことができない	
到達目標 C	チームの中で、自身の考えを伝え、他者の考え方を尊重した行動がしっかりとできる			チームの中で、自身の考えを伝え、他者の考え方を尊重した行動が「ある程度」できる				チームの中で、自身の考えを伝え、他者の考え方を尊重した行動ができない	
【教科書】 配布プリント									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 試験と課題を総合的に評価する。積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		チームビルディング演習				年度	2025
英語表記		Team building practice				学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル		評価方法	自己評価
1	良いチームとは	良いチームとはどのようなチームなのかについて理解する	1 チームとは	チームとは何か？について理解している		3	
			2 良いチームとは	良いチームになるための条件について理解し、整理されている			
			3 あなたのチームは？	自身が所属するチームの状況を把握し、改善ポイントが理解できている			
2	目的・目標設定	自身の目標設定や目的設定について明確にする	1 入学目的	入学前に抱いた目的の達成度合いを把握できている		3	
			2 入学前の理想像	入学前の理想像に対して現状と改善策を考えることができる			
			3 目標の修正	目標とのギャップから今後の目標を再設定できる			
3	チームの形	様々なチームの運用形態について理解する	1 チームの形	チームの4つの形が理解できる		3	
			2 チーム内での役割	チーム内でのプレーヤーの役割が理解できる			
			3 チームへの貢献	チームに貢献するための振る舞いについて理解できる			
4	チームビルディング実習1	相手のことを思いやり自身の振る舞いについて他者との関わりから学ぶ	1 グラウンドでの課題解決型グループワーク	チームでの身体を動かしながらの課題解決型学習から自身の振る舞いについて考えることができる		3	
5	チームビルディング実習2	相手のことを思いやり自身の振る舞いについて他者との関わりから学ぶ	1 グラウンドでの課題解決型グループワーク	チームでの身体を動かしながらの課題解決型学習から自身の振る舞いについて考えることができる		3	
6	チームビルディング実習3	相手のことを思いやり自身の振る舞いについて他者との関わりから学ぶ	1 教室内での課題解決型グループワーク	チームでの思考力の求められる課題解決型学習から自身の振る舞いについて考えることができる		3	
7	チームビルディング実習4	相手のことを思いやり自身の振る舞いについて他者との関わりから学ぶ	1 教室内での課題解決型グループワーク	チームでの思考力の求められる課題解決型学習から自身の振る舞いについて考えることができる		3	
8	コミュニケーション	コミュニケーションの重要性を理解する	1 コミュニケーションの手法	チームの目標達成を円滑に進めるためのコミュニケーション手法について理解している		3	
			2 問題解決のアプローチ手法	チーム内の問題を解決するためのコミュニケーション手法について理解している			
9	プロチームの現場	プロサッカーチームのドキュメンタリーから「チーム」の成長や困難を理解する	1 ビデオ鑑賞	プロサッカーチームのドキュメンタリー映像から「チーム」の成長や困難を理解し、自身のパフォーマンスやチームの現場について考えることができる		3	
10	プロチームの現場	プロサッカーチームの映像や試合から「チーム」の成長や困難を理解する	1 映像鑑賞とグループワーク	誰もが知っているゲーム映像の振り返りから、チームの直面した課題や問題等の解決や考え方について意見を出して共有することができる		3	
11	チームビルディング実習5	相手のことを思いやり自身の振る舞いについて他者との関わりから学ぶ	1 グラウンドでの課題解決型グループワーク	チームでの身体を動かしながらの課題解決型学習から自身の振る舞いについて考えることができる		3	
12	チームビルディング実習6	相手のことを思いやり自身の振る舞いについて他者との関わりから学ぶ	1 グラウンドでの課題解決型グループワーク	チームでの身体を動かしながらの課題解決型学習から自身の振る舞いについて考えることができる		3	
13	チームビルディング実習7	相手のことを思いやり自身の振る舞いについて他者との関わりから学ぶ	1 コンセンサスゲーム1	チームでの思考力の求められる課題解決型学習から自身の振る舞いについて考えることができる		3	
14	チームビルディング実習8	相手のことを思いやり自身の振る舞いについて他者との関わりから学ぶ	1 コンセンサスゲーム2	チームでの思考力の求められる課題解決型学習から自身の振る舞いについて考えることができる		3	
15	まとめ	まとめ	1 振り返り	これまでの授業を振り返ることができる		3	
			2 自己評価	チームビルディングについての理解度を自己評価することができる			
			3 目標設定	これまでの振り返りをもとに今後の目標設定ができる			

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等